

一般国道16号

横須賀地区 トンネル改修

災害時の緊急輸送路確保、
交通の安全性向上・円滑化を図ります。

新浦郷
TN

新船越
TN

新田浦
TN

新吉浦
TN

国土交通省 横浜国道事務所

概要

神奈川県内の国道16号は、東京の外郭を環状方向に連絡するとともに災害時の緊急輸送路に指定されており、重要港湾の横須賀港と連絡する重要な道路です。また、横須賀市内の国道16号には、供用から40年以上経過したトンネルが多数(16箇所中15箇所)存在し、老朽化が進行しているとともに内空が狭く、高さ制限を設定している状況です。

横須賀地区トンネル改修は、このようなトンネル郡のうち抜本的な対策の必要性が高いトンネルを対象に、改修整備を行い交通の安全性の確保や円滑化を図るものです。

経緯

平成14～15年度 トンネル劣化度評価及び検討委員会開催

平成17年度 概略検討

平成18年度 新規事業化 地質調査

平成19年度 詳細設計

| 延長 | 供用年 | 外回り(山側) | 内回り(海側) | 供用年 | 延長 |
|------|-------|---------|----------|-------|------|
| 127m | 昭和36年 | 新浦郷トンネル | 浦郷トンネル | 大正14年 | 127m |
| 100m | 昭和23年 | 新船越トンネル | 船越トンネル | 大正12年 | 76m |
| 119m | 昭和17年 | 新田浦トンネル | 田浦トンネル | 大正15年 | 115m |
| 151m | 昭和18年 | 新吾妻トンネル | 吾妻トンネル | 昭和 2年 | 87m |
| 235m | 昭和18年 | 新長浦トンネル | 長浦トンネル | 昭和 3年 | 193m |
| 216m | 昭和 3年 | 吉浦トンネル | 新吉浦トンネル | 昭和18年 | 259m |
| 157m | 昭和 3年 | 逸見トンネル | 新逸見トンネル | 昭和19年 | 148m |
| 127m | 昭和20年 | 横須賀トンネル | 新横須賀トンネル | 平成 2年 | 116m |

■ は抜本的な対策の必要性が高いトンネル

※横須賀トンネル及び新横須賀トンネルは、すでに改修されており、内空が確保されています。

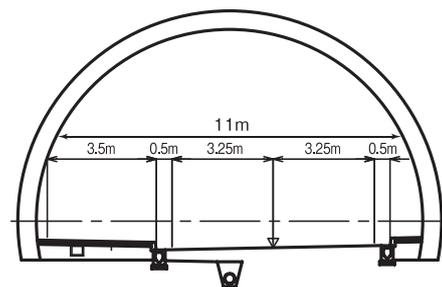
改修イメージ

現況



新浦郷トンネル

新浦郷トンネル(改修後)標準断面図



全てのトンネルにおいて、歩道を3.5mに拡幅し、高さ制限を解除します。



新浦郷トンネル(外回り)

昭和36年竣工。トンネル延長127メートル。この新浦郷トンネルとその隣に並んでいる浦郷トンネルは国道16号を通ると、横須賀への出入り口ともいべきトンネルです。新浦郷トンネルを抜けると追浜です。



新船越トンネル(外回り)

昭和23年竣工。トンネル延長100メートル。新船越トンネルの隣には入口がレンガ積みで大正12年(1923)にできた船越トンネルがあります。この付近、田浦町は明治初期から水雷学校や海軍の重油タンクなどがありました。



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平19関復、第433号)

トンネルの現状

1.歩道が狭い(最小約1m:新吉浦トンネル)

トンネル内の歩道は極めて狭く、人との交差が困難です。
今回の改修では歩道を拡げ、通行者の安全の確保を行います。



2.内空が狭い(高さ制限3.8m)

内空が狭く、高さ制限を行っています。大型車等の走行車によって、トンネルが削られ、事故につながる危険性が高いです。



今回の改修では内空を拡げ、安全性の確保と交通の円滑化を行います。

3.老朽化

供用から40年以上経過したトンネルもあり、トンネルの老朽化が進行しています。
災害時の緊急輸送路としても機能を果たすべく、今回の改修ではリニューアルします。



新田浦トンネル(外回り)

昭和17年竣工。トンネル延長119メートル。この新田浦トンネルは、もともとは海軍の水道路トンネルで、大正7年に民間の通行が許可されました。

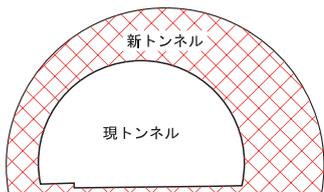


新吉浦トンネル(内回り)

昭和18年竣工。トンネル延長259メートル。外面にレンガ色のタイルでかめをあしらっていて、目でも楽しめる新吉浦トンネル。昭和17年に軍事目的でトンネルの複数化計画が進められ、翌年に完成したトンネル4本のうちの1本です。

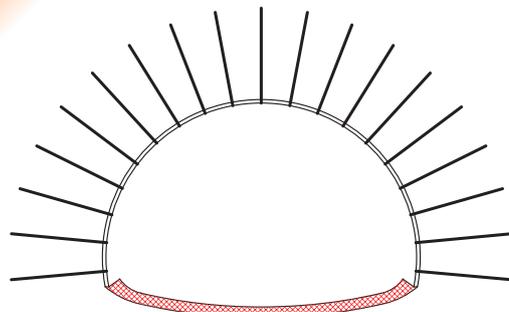
トンネル施工方法

1 掘削



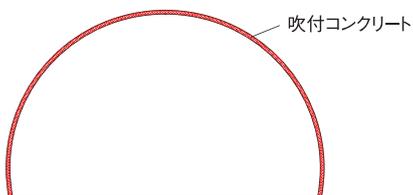
トンネル専用の掘削機械で
現トンネルを切り広げます

4 インバート工



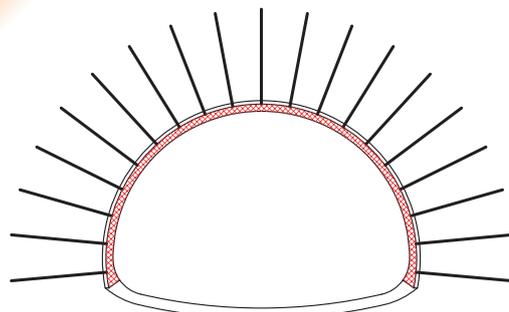
底を掘り下げて、コンクリートにより
底版(インバート)を設けます

2 吹付コンクリート・鋼製支保工



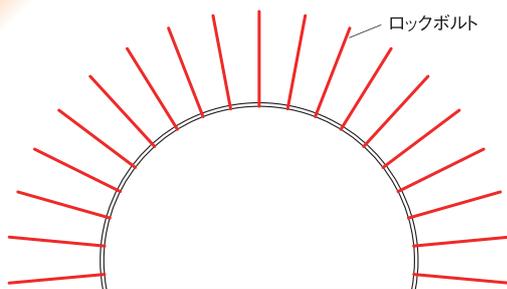
切り広げた外周面が壊れないように
吹付コンクリートと鋼材で補強します

5 覆工コンクリート



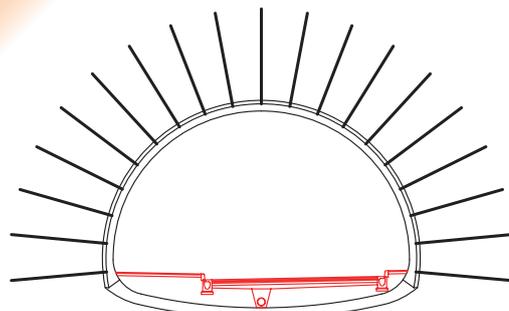
トンネルの長期的安定と美観向上のために、
コンクリートで巻き立てます

3 ロックボルト打設



切り広げた吹付け面にロックボルトを規則的に
打設して周辺地山と一緒に安定させます

6 排水工・塗装工



排水工や舗装工(車道・歩道)などを造って
トンネル本体工の出来上がりです
最後に照明や防災施設を設置して完成です

事業の流れ

—計画から完成まで—

新規事業化

平成18年度・直轄事業による新規事業化



路線・地質調査

設計に必要な調査を行います。



道路設計

実施した測量、地質調査に基づき設計図を作ります。



設計説明

設計図を基に説明をします。道路に必要な用地幅がわかります。



用地幅杭設置測量

道路に必要な幅を現地に示します。



用地測量・調査

土地や建物の調査を行います。用地の境界を確かめるため、立ち合いをお願いします。



用地補償説明・用地協議

用地補償等の説明を行い、協議をして契約・支払を行います。



工事計画説明

工事の実施方法、工事期間中の交通処理等の説明を行います。



工 事



完成 (供用)



国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所

〒231-0001 横浜市中区新港 1-6-1 よこはま新港合同庁舎 4階 TEL: 045-287-3001

<http://www.ktr.mlit.go.jp/yokohama/>

横須賀市役所 交通計画課

〒238-8550 横須賀市小川町11番地 TEL.046-822-9538